

# 応用植物科学

Applied Plant Science



ナンバリングコード			
開設年度	2023	開設部局	農学部
学期	前期	学年	1年
曜日	集中	時限	集中
履修期	1期	授業形態	講義
科目区分	選択	単位数	1単位
対面／遠隔	対面授業	授業回数	8回

## ■担当教員

坂巻祥孝

## ■共同担当教員

清水圭一、坂上潤一、吉田理一郎、朴 炳宰、香西直子、志水勝好、下田代智英

## ■授業概要

南九州の湿潤な気候を生かした農作物・園芸作物の生産について、それらの遺伝的特徴や遺伝的改良、環境変化に応じた栽培技術、害虫防除、土壌・施肥管理に関する基礎的概念を講義する。

## ■学修目標

地球温暖化等の環境変化や人々の嗜好変化に応じた新品種の作出と栽培技術の改良等の様々な農業生産上の問題を解決するために必要な広い視野と応用力、国際性を備えた人材を養成するための基礎を修得します。

## ■授業計画

- 第1回 観賞園芸作物の分類および生理生態的特徴と栽培技術(清水圭一)
- 第2回 主食用作物の分類および生理生態的特徴と栽培技術(下田代智英)
- 第3回 熱帯における作物の機能と活用(坂上潤一)
- 第4回 作物遺伝資源と有用成分(朴 炳宰)
- 第5回 なぜ野菜を食べないといけないのか？(吉田理一郎)
- 第6回 果樹の分類および生理生態的特徴(香西直子)
- 第7回 農業と昆虫の関わり、総合的病害虫管理の考え方(坂巻祥孝)
- 第8回 地球温暖化防止・環境回復を目指す作物学的アプローチ(志水勝好)

## ■授業方法

アクティブラーニング(学習の振り返り)

## ■準備学修に必要な学修時間の目安

本科目は、45時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は15時間分(2h×7.5コマ)となるため、30時間分相当の事前・事後学修(課題等含む)が、授業の理解を深めるために必要となる。

## ■教科書

無し。

## ■参考書

なし

## ■成績評価方法・評価基準

毎回のレポート等 100%

各担当教員は、基本的な目標に対し秀相当(90%)、優相当(90%未満から80%以上)、良相当(80%未満から70%以上)、可相当(70%未満から60%以上)、不可(60%未満)で判定する。

## ■オフィスアワー

火曜日から金曜日の16時～18時

## ■連絡先(TEL)

## ■連絡先(MAIL)

## ■担当教員への連絡方法

電話か電子メール

## ■履修条件

特になし

## ■実務経験のある教員による実践的授業

該当なし

## ■その他科目区分

## ■注意事項